

はもりあ

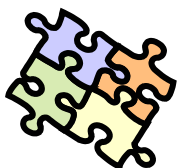
「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2010年3月1日発行

2月20日で、今年度の「さんかくカレッジ」はすべて終了しました。

残るは、「はもりあ月間」のみです。市民の皆さんが展示販売するチャレンジショップ(13日、14日、27日に開催)、各グループ企画のワークショップ(21企画)、グループ紹介展示、そして子育てパパのベストショット写真展(とても優しいパパの顔がいっぱいです)など実施します。ぜひ来てください!



3月2日(火)～27日(土)に

市民協働事業“はもりあ月間”を開催します!

「はもりあ四日市」の役割の一つに、「市民活動の拠点」、「市民と行政の協働の拠点」があります。今回は、この役割を果たすために実施する「はもりあ月間」について紹介します。

【市民協働による男女共同参画社会づくりをめざして】

「はもりあ四日市」では、講座だけでなく夜間開館業務、調査研究業務など多くの事業に市民グループの皆さんとの協働を広げています。特に、学習や啓発の機会を設ける目的で毎年実施している、啓発講座「さんかくカレッジ」については、今年度は9講座のうち、5講座を市民グループの皆さんによる企画・運営で実施しました。市民の皆さんが持っている能力やアイデアを発揮して、講座を企画・運営していただくことは、市民グループとしての自主活動能力の向上を目指す意味でも大変有意義だと考えるからです。

【“市民力”は重要な戦力です!】

現在、はもりあ四日市には、約50の登録グループがあります。自分たちらしく生き生きと暮らす為の活動をするグループ、自分たち自身の問題解決のための自助グループ、自己肯定感を養うグループなど活動内容はさまざまですが、どのグループも強い意欲や行動力があって、いいアイデアを持っています。

「はもりあ月間」では、各グループの活動をお互いに知っていただき、活動に“男女共同参画”のエッセンスを入れていただく機会を設ける目的で、ワークショップの企画をすべて登録グループからご提案いただき、それぞれ委託しました。出てきた21企画は、男女共同参画に関するもの・健康に関するもの・子育てに関するもの・自分磨きに関するものなど多種多様な企画です。また、広報活動にもグループの皆さんにご協力いただくなど、はもりあ四日市には、男女共同参画を応援してくれる力強い味方がたくさんいます。

【活動の主役は、市民のみなさんです!】

「男女共同参画社会の実現」のためには、市民と行政が協働して同じ目標に向かって進んでいくことが重要です。はもりあ四日市は、市民活動に必要な情報提供をし、活動の場を提供し、市民活動のネットワークの拠点として、多様な活動を支援しています。今回の「はもりあ月間」を協働で実施していくことにより、今まで市民の皆さんが続けてきた「市民活動」がさらにグレードアップし、はもりあ四日市としても、市民の皆さんへ、よりよいサービスが提供できるようになると思います。

女性だけでなく男性や高齢者、若い世代などあらゆる層に向けた総合的な男女共同参画施策を進めていくため、今後も市民の皆さんの声を反映させ、ますます「協働」を進めていきます。



<はもりあ四日市は、男性の育児や家事参画を推進し、子育てを楽しんでいるパパを応援しています。>

パパを
楽しもう!

育児は期間限定のプロジェクトX

入場無料

申込受付中!

家庭は大事にしたい、でも仕事を頑張らなくちゃいけないから、家庭が犠牲になるのは仕方がない……。そのジレンマと戦っているパパと、そのパパのまわりにいる人たちにぜひ聞いていただきたい講演会です。



<安藤パパと次男サトシくん>

日時 **3月27日**(土) 13:00~15:35

講師 **安藤哲也**さん (NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事)

仕事だけでなく、家庭を大事にして父親であることを楽しみながら、PTA会長もこなし、趣味も大事にしている、3人の子どもの現役バリバリパパ。

企業表彰 13:00 ~ 13:30

「子育て中の男女がいきいきと働き続けられる企業」を表彰します。

トークライブ 13:30 ~ 14:50 **定員 100名**

安藤パパから、地域活動など丸ごと楽しむコツをお話いただきます。

絵本ライブ 15:05 ~ 15:35 **定員 30名**

安藤パパから、子どもたちに読み聞かせをしていただきます。

お申込みは、電話かFAX、Eメールで

A:安藤パパのトークライブ希望 または B:トークライブと絵本ライブ希望

住所 名前 年齢 電話番号 託児希望の場合はお子さんのお名前と年齢をお書きください。

基本計画「男女共同参画プランよっかいち」を策定しました。

四日市市は、男女共同参画社会の実現を目指し、平成18年に「四日市市男女共同参画推進条例」を制定しました。そして、このほど、男女共同参画社会の実現を総合的かつ計画的に推進するために、「男女共同参画プランよっかいち」を策定しました。このプランの計画期間は、策定から5年間です。ただし、社会情勢の変化や次期総合計画等に対応し、必要に応じて見直しをしていく予定です。

このプランは、平成7年の「女性施策プラン」、平成14年の「共同参画プランよっかいち」に続く3代目のプランで、18年の条例制定以降初めて策定します。策定にあたり、男女共同参画審議会から答申をいただき、また、昨年11月~12月にかけて、このプランに対する市民の皆さんのご意見を募集し、反映させ、出来上がりました。

このプランは、

1. 男女共同参画社会実現のための意識づくり
2. 男女共同参画社会実現のための社会環境づくり
3. 男女共同参画の視点に立った個人の尊重

の3つの基本目標と、その目標を進めていくための9つの重点課題から構成されています。今後は、男女共同参画社会づくりに向けて、具体的に実施する施策や事業を示す「実施計画」を策定していきます。

計画を推進するには、行政だけでなく、市民一人ひとりが、あらゆる場面で男女共同参画の視点を持つことが必要となります。男女共同参画社会への理解と協力をお願いします。



2月21日(日)に、(財)横浜市男女共同参画推進協会理事の桜井陽子さんを講師にお招きして、講演会を開催しました。桜井さん講演会のお話からピックアップして紹介します。

<日本の女性の現状>

経済大国(国内総生産世界第2位)と言われますが、女性の実態はそうではありません。男性の賃金を100とすると女性は52.5と賃金格差があります。この社会では、女性が離婚やDV被害などの理由で母子家庭になると、一瞬で貧困に陥る可能性があります。支援をする人は、こういった社会的背景を頭に入れて相談を聴く必要があります。

DVなどは、一見個人的な問題であると捉えがちですが、性差に基づく社会的問題であることを見極めていかななくてはなりません。



【講演会の様子】

<支援力を磨く>

支援をする人には、相談内容をよく聞き、解決に向けた支援をしていくことが重要ですが、一人でサポートを行なうことは困難で、限界があります。そのために男女共同参画センターをはじめとする様々な地域の社会資源と協力し合うことが必要です。さらにセンターの相談員には、日々の相談を通して社会の問題点をみつけて、行政機関に解決を訴えていくといった分析力と行動力が求められています。



東海地区「男女共同参画を進める相談事業」研究会と共同で、講演会を開催しました。

今月のおすすめ本

3月から4月は、新しい生活がスタートする時期ですね。今月は、自分のライフスタイルを見直して、家族力を高めるのに役立つ本を紹介します。

『働くおうちの親子ごはん』 田内しょうこ著

共働きで時間にゆとりがなくても、おうちで美味しくごはんを楽しめるアイデアがいっぱいです。週末にごはんのタネをまとめづくりして、平日はそれに季節の野菜を組み合わせ、短時間で作れるレシピの紹介や、家族みんながごはん作りに参加できる工夫など、参考になります。よそのおうちのごはん事情がわかる、巻末の『となりのおうちインタビュー』も楽しいですよ。

『だれだってネオパパ』 あいはらひろゆき著

『ネオパパ』って何かな??親世代とは違い、仕事だけでなく、父親としての自分を最大限楽しみたいと思っているパパたち。ネオパパは時代を変える存在です。

家庭と仕事、両方を充実させる『ネオパパの知恵袋』、女性がネオパパを見守る『働く女性の座談会』も必読です。時代の変化を実感する本です。



今月のキーワード

3歳児神話

子どもが3歳までは、母親がそばにいて育児をすることが、子どもにとって一番望ましい、という考えが信じられてきたことをいいます。

人間形成には幼少期の母子密着型愛情が絶対であり、母親は子育てに専念すべきである、といわれたのは高度経済成長以降のことです。「三つ子の魂百まで」ということわざが、「3歳」と掛合わされ、誤った解釈となって広まりました。

それ以前の子育ては、村落共同体や、大家族の中で自然に営まれていました。高度経済成長期に入り、「企業戦士と家庭をしっかりと守る妻」といった性別役割が固定化する社会制度となり、女性たちは、この神話にしばられることになりました。

この3歳児神話に対して、1998年版『厚生白書』は合理的根拠がないと断言しています。幼少期に母親が働いている場合とそうでない場合において、子に与える影響(乳幼児期の発達状況、児童期の認知発達、社会性、行動上の問題点、など)の調査では、3歳児神話の根拠となるような因果関係はありませんでした。



登録グループイベント情報

- 3月 6日(土) 「働く人の身近な悩み」とは？講演と朗読劇
社会保険労務士の伊藤潤子さんを講師に迎えて、男女の働き方、年金や保険について考えます。会員による朗読劇もお楽しみに。
時 19:00～20:30 費 無料 所 常磐地区市民センター大会議室
問 常磐男女共同参画をすすめる会 飯田 (TEL059-352-2611)
- 3月 12日(金) 坂倉加代子さんの子どもの本の講座『子育てと本・本と子育て』その
外国の子育て支援のお話や、四日市市やその周辺地域の子どもの読書環境を取り巻く現状
など、子育てと子どもの本について学びます。皆様のご参加をお待ちしております。
時 10:00～12:00 費 300円 所 四日市市文化会館 第2会議室 定 30名
問・申 Can (きゃん) 岡田 (TEL059-352-3094 FAX059-352-3138)
- 3月 16日(火) 「春のお楽しみ会」
川越町を中心に活動されている西山登志子さんのオカリナ演奏やママによる大型紙芝居。
時 10:30～12:30 (10:15 受付) 費 親子で600円 (会員400円) デザート付
所 四日市まんなか子ども劇場 定 20組 (要予約)
問・申 四日市まんなか子ども劇場 (TEL/FAX059-351-6670)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、こすもすの会さんです。

こすもすの会

代表者 久保田 容子 会員数 12名
連絡先 059-374-1788

こすもすの会は、40代から90代までの幅広い年齢層の会員がいます。毎回テーマがあり、原稿用紙に書いた作品を持ち寄って、奇数月に一度集まっています。
近代日本文学研究家の河原徳子先生のご指導あり、会員の感想あり、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しい時間を過ごしています。
毎年の小冊子出版をめざしていますので、興味のある方はぜひ入会してください。



情報紙「はもりあ」をご購読の皆様へ

いつも情報紙「はもりあ」をご覧いただき、ありがとうございます。この「はもりあ」は、事業終了後のアンケート等で情報提供を希望された皆様にお送りしています。送付が不要になりました場合はご連絡ください。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>